

インクルージョンを志向した高等学校における倫理の学習

1 校種・教科・科目（分野） 高等学校社会科・公民的分野

2 単元名 障害者の包摂に伴う社会的ジレンマをいかに解決できるか
—ニーズ尊重と社会的公正の両立—

3 学習指導要領上の位置付け 「倫理 B 現代の諸課題と倫理（2）社会と文化に関わる諸課題と倫理（ア）社会と文化に関わる諸課題と倫理」 「政治・経済 A 現代社会における政治・経済の諸課題（1）現代日本の政治・経済（ウ）現代日本の政治・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けること」

4 カリキュラムマップとの関連性 多様性の尊重 市民の権利と責任

5 単元目標

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性
人間としての在り方生き方をより深く思索するための手掛かりとなる人間観や社会観に関する概念や理論について理解している。	社会的事象を倫理、哲学、宗教などに関わる多様な視点から捉え、課題解決の選択・判断に資する概念や理論などを関連付けて、人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。	人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代社会が抱える倫理的課題を解決しようとしている。

6 単元の特色（教材観）

インクルージョンは「すべての人へのニーズ尊重と社会的公正の両立」と定義でき、その実現は現代社会の重要課題とされている。とりわけ倫理は人の在り方生き方と深く関わり、ニーズ尊重と社会的公正の双方と強く関連する。

そこで本単元では、倫理の中でも「社会のなかで個人が協力的か利己的かを選択できる状況下で、個人にとって合理的な選択をすると、社会にとって非合理的な結果となってしまう状況」を意味する「社会的ジレンマ」の問題に注目し、障害のある人を含めたすべての人のニーズ尊重と、すべての人々が不平等を感じない社会的公正の両立について考え、考えたことを基に、ジレンマの解決に向けた意思決定および行動ができる学習を行う。学習を通して、社会認識の深まりを前提とした、すべての人のための社会参加の学習を実現させたい。

7 単元計画

次	時	項目	学習活動
第1次 障害の社会モデルに関する 知識理解	1	障害者を支える制度	○障害者福祉について知っていることを挙げる ○障害者福祉制度について、年表を基に学習する
	2	障害者の就労	○障害者の就労制度について、前時の学習と関連づけながら整理する ○障害者の就労について、新聞記事を基に学習する
	3	障害の社会モデル	○障害概念について資料を基に学習する ○障害の社会モデルについて、資料を基に学習する ○社会モデルの利点と欠点、政治への導入について熟議を行う
第2次 障害の社会モデルに基づく 社会的ジレンマについての 意思決定と社会参加	4	社会モデルに基づく社会づくり	○障害者の包摂を実現した海外の街づくりについて学習する ○市長の立場から、障害者のための政策は何をどの程度配慮すべきかについて、倫理的な見方・考え方と関連づけながら意思決定する
	5	倫理の見方・考え方に基づく障害者の包摂における社会的ジレンマの解決	○前時の意思決定を念頭に置き、自分が住んでいる街を事例に、障害者の包摂に関する社会問題について調べる ○障害者の包摂において生じる社会的ジレンマについて、倫理的な見方・考え方にに基づきながら解決のために行動する

8 カリキュラム・マネジメント

本単元で学習する「障害の社会モデル」は、障害学の倫理・哲学的理論と結びつく概念であり、倫理的な見方・考え方に相当する。また「障害の社会モデル」は、政治的な意思決定や行動に影響を与えるための枠組みでもある。それゆえ本単元は「障害の社会モデル」に関する知識を学ぶ単元であるとともに、学習を通して身についた倫理的な見方・考え方を活かして政治的な意思決定と行動までを射程としている。具体的には、概念理解→熟議と意思決定→社会参加を通して、知識に基づいて思考し、行動へとつなげる構造となっている。さらには制度の学習を組み込んでいるため、法領域との関連にも目配せをしている。したがって本単元は、倫理領域と政治領域、法領域の合科単元として位置づけることができる。

早瀬博典（筑波大学）

ワークシートの例

障害者を支える制度について、年代順にまとめましょう（1時間目）

<年>

<起こったこと>

2003

2005

2010

2012

2013

障害の社会モデルについてわかったこと、疑問点をまとめましょう（3時間目）

あなたが市長なら、社会モデルに基づき、障害者のための政策をどこまで認めるのが公正だと思いますか。（4時間目）

- 1 階段のような物理的環境を変化させる
- 2 段差や障壁の設置を規制する
- 3 階段を登らないと入れない場所に入り口をつくったオーナーにペナルティを与える
条例の制定
- 4 障害を社会に生み出している人々の思想や価値観を変えるための制度の策定

振り返り

謝辞

本単元の構想にあたっては、広島大学大学院の久保氏に貴重なご意見をいただきました。ここに記して感謝を申し上げます。